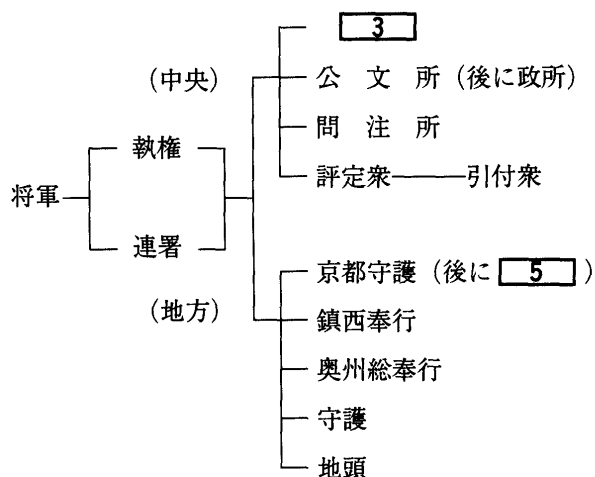


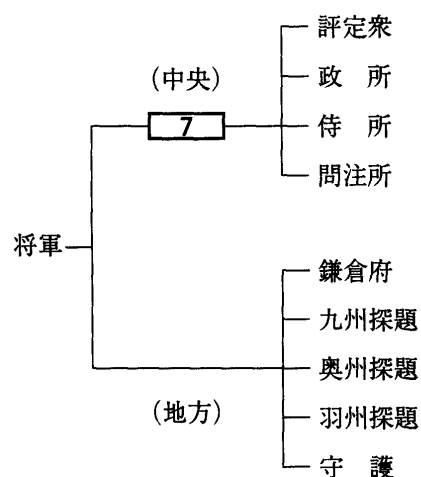
〔Daily 日本史〕 ～鎌倉→室町～

【1】 2003 年 西南学院大学 文(国際文化), 経済

次の図(ア・イ)に関する文(A～E)を読み、図および文中の□(1～10)に最も適当な答を、解答欄に記入せよ。



ア 鎌倉幕府の機構



イ 室町幕府の機構

- A 鎌倉幕府は、1192年に源頼朝が□1に任じられ、成立した。本来、将軍職は幕府を主宰する重要な職務であった。ところが、第2代将軍源頼家は幕府の実権を失う。さらに、第3代将軍源実朝が鎌倉にある□2の境内で暗殺され、源氏将軍の血統は絶える。幕府は京都から九条頼経を将軍として迎えた。しかし、もはや名目的な存在に過ぎなかった。
- B 鎌倉幕府の機構の中で、最も早く設けられたのが□3である。御家人の統率などに当たる□3は、源頼朝が伊豆に挙兵した1180年に設置され、初代長官には和田義盛が任じられた。和田義盛は、しかし、第2代執権□4によって1213年に滅ぼされている。
- C 平氏が滅亡すると、源頼朝は京都に京都守護を置き、国ごとに守護を置いた。朝廷との交渉などに当たる京都守護は、承久の乱後には□5と改称された。□6の追捕を口実におかれた職務は守護に統一され、大犯三箇条を任務とした。
- D 室町幕府では、将軍を補佐し、幕府の政務をつかさどる要職を□7とよび、足利家一門の3有力守護から選ばれた。京都の警備などにあたる侍所の長官は侍所頭人とよばれ、赤松・一色・□8・京極の有力守護4家から任じられた。
- E 足利尊氏は東国支配のため鎌倉府を置き、□9を初代長官として派遣した。鎌倉府は当初、関東8ヵ国と伊豆・□10を統治した。後に、陸奥・出羽を加えて強大化し、しだいに室町幕府に対する独自色を強めた。

【2】 2003 年 中央大学 法(法律(フレックスA/フレックスB))

次のA～Cの文章を読み、問1～8の設問に答えなさい。

A 鎌倉幕府では、執権北条泰時の時代に有力御家人らで構成される評定衆が新設され、重要政務は評定衆の合議で決定するという体制がとられたが、北条氏嫡流の当主である[あ]の権力がしだいに強化し、この合議体制は徐々に崩れはじめ、重要政務も実質的にはその私邸で開かれる寄合で決定されるようになった。①元寇という対外的危機はこのような専制化の流れを大きく促進したといえよう。

そうした専制化の流れにともない、御内人と御家人との対立も深まった。やがて有力御家人が減ばされるという[い]がおき、その結果[う]と呼ばれる地位にいた平頼綱が権勢を伸ばしたが、北条[う]はこれを討ち、強大な権力を掌握するにいたった。しかし、このような政治の専制化や北条氏一門が優遇されるという状況に対し、御家人などの反発も少なくなかった。さらに既存の支配秩序に反抗する悪党らの活動も畿内を中心に目立つようになってきた。幕府は悪党の行動にもなやまされた。

B ②大覚寺統の出身で天皇親政を理想としていた後醍醐天皇は、幕府に対する不満が広がったのをみてひそかに③倒幕計画を進めたが、計画は漏洩し、後醍醐天皇の側近が処罰された。この失敗にも臆せず後醍醐天皇は再度倒幕を図った。この倒幕の動きに応じ挙兵した一人が、のちに室町幕府のもとで重用され播磨守護職についた[お]である。この倒幕計画も失敗し、後醍醐天皇は隠岐に流された。しかし、その後も反幕府の動きはおさまらず、後醍醐天皇もやがて隠岐からの脱出に成功した。幕府は反幕府勢力を鎮圧しようとしたが、天皇方について新田義貞らに攻められ、ついに滅亡した。幕府が滅亡すると後醍醐天皇は京都に戻り新しい政治を始めた。これが建武の新政である。理想を追い求める後醍醐天皇は④政治機構を整え、⑤さまざまな政策を実施しようとした。例えば所領の権利に関しては天皇の意志を伝える文書形式の一種である[か]によって確認をうけなければならなかったとした。しかし、現実を無視することが少なくなかった新政権の政治は⑥武士にも公家にも庶民にも不満をもたらした。

C 後醍醐天皇による政治に失望した足利尊氏は、中先代の乱の発生を機に鎌倉にくんだり、そこで新政権に反旗をひるがえした。関東から攻めあがった足利尊氏はいったんは敗れたが、すぐに態勢を立てなおし、京都の制圧に成功した。足利尊氏は光明天皇を擁立し、室町幕府を開いたが、吉野にのかれた後醍醐天皇も皇位にあることを主張したため、以後⑦長期にわたり激しい内乱が続いた。九州では、後醍醐天皇の皇子である[き]が菊池氏の援助をうけ一時優勢を保ったが、その勢力はやがて衰退した。両朝が対立する状態が解消されたのは足利義満の時代であった。足利尊氏により開かれた室町幕府では、その機関として将軍を補佐し政務を統轄する管領や、直轄軍でもあり、また幕府直轄領の管理や守護の監視も行なった[く]などが置かれていた。

問1 文中の空欄[あ]～[く]に入る適切な語または人名を漢字で答えなさい。

問2 下線部①に関する次の文章のうち、正しいものにはa，誤っているものにはbをマークしなさい。

- イ 御家人だけでは防備が不十分であったため、幕府はその補強として異国警固番役を新設した。これを命じられたのは主に九州の非御家人であった。
- ロ 元寇後設置された鎮西探題には所領争いを裁判する権限が与えられたが、これも西国の防備体制を整備する措置のひとつであった。
- ハ 文永の役で奮戦した竹崎季長は、恩賞を求めて鎌倉に赴き、幕府に直訴し成功した。

問3 下線部②に関する次の文章のうち、正しいものにはa，誤っているものにはbをマークしなさい。

- イ 亀山天皇の流れが大覚寺統であり、これに対し持明院統はその兄の流れである。
- ロ 長講堂領は大覚寺統伝来の所領のひとつであった。
- ハ 文保の和談は大覚寺統と持明院統の間に皇位継承をめぐる争いがあったことを示している。

問4 下線部③に関する次の文章のうち、正しいものにはa，誤っているものにはbをマークしなさい。

- イ この事件は元弘の変といわれる。
- ロ 後醍醐天皇の側近である日野資朝はこの事件で処罰された。
- ハ 後醍醐天皇は事件漏洩直後笠置山で挙兵したが失敗に終わった。

問5 次のうち下線部④の建武の新政権で中央に設置された機関はa，そうでないものはbをマークしなさい。

- イ 侍所 ロ 恩賞方 ハ 公文所 ニ 問注所

問6 下線部⑤に関する次の文章のうち、正しいものにはa，誤っているものにはbをマークしなさい。

- イ 天皇の権威復活の象徴として大内裏を造営しようとした。
- ロ 律令的地方支配を目指し守護を廃止して国司を置いた。
- ハ 宗教政策では外来の文化であるとして仏教を排斥・圧迫した。

問7 下線部⑥に関する次の文章のうち、正しいものにはa，誤っているものにはbをマークしなさい。

- イ 武士層は新政権の土地政策が武家社会の慣習に反すると不満を唱えた。
- ロ 公家層の最大の不満は倒幕に功績のあった武士に上級官職のほとんどを奪われたというところにあった。
- ハ 若狭国東寺領太良荘の農民から新政権発足後かえって生活が困窮したと不満がでた。

問8 次のうち下線部⑦の南北朝の内乱に関する描写がみられるものにはa，そうでないものにはbをマークしなさい。

- イ 増鏡 ロ 梅松論 ハ 職原抄 ニ 建武年中行事

【3】 2002 年 同志社大学 神, 法屋間主・夜間主

次の(1)～(3)の文章は、中世における幕府政治や領国統治を担った役職・任務や地位に関する記述である。文中の下線部 a ～ i に関する各設問に答えよ。

- (1) a. この役職は、鎌倉幕府では将軍家の政所別当の中の 1 名を任じたもので、建仁 3 年(1203)に北条時政が 2 代将軍であった源頼家を廃して実朝を擁立したさいに就いたのが最初とされる。将軍を補佐して政務を統括する職であったが、将軍は名目化され、政治の実権はこの職に移った。建保元年(1213) b. 北条義時が侍所別当の和田義盛を滅ぼして以降、北条氏の c. 家督が政所・侍所の両別当を兼帯・世襲するようになり、この職名はその北条氏の地位をさすようになった。

〔設 問〕

a. この役職の呼称を、漢字で記入せよ。

b. 北条氏は、源頼朝の没後、幕府創設以来の有力御家人たちを討滅して、その専制体制を整えていった。次の 1 ～ 3 は、この過程で北条氏によって滅ぼされた御家人である。その討滅された時期の早いものから順に、番号を並べよ。

1. 和田義盛 2. 畠山重忠 3. 比企能員

c. この北条氏の嫡流の当主(家督)は、何と呼ばれたか。北条義時の法名に由来するという、その呼称を漢字で記入せよ。

- (2) 建武 3 年(1336), d. 足利尊氏が筑前国多々良浜の合戦に勝ち、東上するさいに一色範氏をとどめて幕府軍の統括にあたらせたのが、e. この役職の室町幕府における端緒となった。応安 4 年(1371)に任じられた今川貞世は、その職が有した幕府方の武士に対する軍事指揮権をもとに南朝方勢力などを制圧して九州経営にあたり、足利義満による f. 南北朝の合体に寄与した。

〔設 問〕

d. 南北朝の内乱期における足利尊氏や後醍醐天皇らの動向は、いくつかの軍記物や史書に垣間見ることができる。次の 1 ～ 5 のうち、この時期の動向を伝える書物名を 2 つ選び、その番号を記入せよ。

1. 『吾妻鏡』 2. 『梅松論』 3. 『保元物語』
4. 『将門記』 5. 『太平記』

e. この役職の呼称を、漢字で記入せよ。

f. 南北朝の合体は、足利義満の和議斡旋を受け入れた後亀山天皇が帰京して実現した。そのさい神器を譲られた持明院統の天皇名を、漢字で記入せよ。

(3) 守護代は、鎌倉・室町幕府の^g守護の代官であり、守護が鎌倉や京都に在住したり、^h数ヵ国を兼ねる場合などに、その任国の業務・統治を代行した。御成敗式目により一国一人に限定されたが、任務の性格は守護の任国経営のありかたによって異なる。室町時代以降進展する守護の領国支配の強化に寄与し、彼らの中には次第に在地諸勢力を掌握して、ⁱ戦国大名化する者もあらわれた。

〔設 問〕

g. 鎌倉幕府によって国ごとに補任された守護は、一国の御家人を統率して、大犯三ヵ条などの職務を遂行するものとされた。その三ヵ条のうち、任国内の御家人を動員して内裏・院御所の警備にあたらせる職務権限を何と呼ぶか。その権限の呼称を、漢字4文字で記入せよ。

h. 室町幕府の管領や侍所所司には、数ヵ国以上の守護を兼ね、世襲する一族が多かった。このうち、いわゆる「四職」の家格をもち、一時期には但馬・美作・和泉・丹後・因幡など10ヵ国余を領して、「六分一殿」と呼ばれた守護一族の家名を、漢字で記入せよ。

i. 次の1～5のうち、守護代の家柄から戦国大名となった家名を2つ選び、その番号を記入せよ。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. (尾張)織田氏 | 2. (越前)朝倉氏 | 3. (駿河)今川氏 |
| 4. (薩摩)島津氏 | 5. (甲斐)武田氏 | |

【解答 1】

A	1	征夷大將軍	2	鶴岡八幡宮
B	3	侍所	4	北条義時
C	5	六波羅探題	6	源 義経
D	7	管領	8	山名
E	9	足利基氏	10	甲斐

【解答 2】

問 1 .	あ	得宗			い	霜月騒動		う	内管領		え	貞時				
	お	赤松則村			か	綸旨		き	懷良親王		く	奉公衆				
問 2	イ	b	ロ	a	ハ	a		問 3	イ	a	ロ	b	ハ	a		
問 4	イ	b	ロ	a	ハ	b		問 5	イ	b	ロ	a	ハ	b	ニ	b
問 6	イ	a	ロ	b	ハ	b		問 7	イ	a	ロ	b	ハ	a		
問 8	イ	b	ロ	a	ハ	b	ニ	b								

【解答 3】

(1)	a	執権	b	3→2→1	c	得宗
(2)	d	2・5	e	九州探題	f	後小松天皇
(3)	g	大番催促	h	山名氏	i	1・2